

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3871200154
法人名	有限会社 ウイズ・ケイ
事業所名	グループホーム あんど
所在地	愛媛県西条市桑村456番地
自己評価作成日	平成21年7月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人の人間として接し、喜怒哀楽の表現ができるよう、又、普通の生活ができるよう支援をしています。  
いつも自然体でいる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

友人やご家族、以前通っていたデイサービスの職員へ手紙を書かれる利用者の方がおり、職員がポストに投函されている。手紙を受け取った、以前通っていたデイサービスの職員の方が、事業所を訪ねて来て下さったこともある。  
食材の買い物をする時には、利用者が新鮮な野菜を選んでくださる。旬のものをふんだんに採り入れたメニューに心がけておられ、刺身等の新鮮な魚も多く食卓に上る。デザートや果物等は、好きなものの希望がよく聞かれ、誕生日時には、赤飯やお寿司等、ご本人のリクエストに応えたメニューでお祝いされている。利用者が「おいしい」と感想を言っておられる様子も見られた。95歳を超える利用者が、テーブルを隅から隅まで拭いて下さっていた。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム あんど

(ユニット名) じぞう村

記入者(管理者)

氏名 楠橋 昌美

評価完了日

平成 21 年 7 月 15 日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「共耕共遊」の里を理念にしており、地域の人達と共に生きがいのある人生を過ごせることを目指し、努力している。ミーティング等で、理念についてもう一度考え、自分達の介護について見直している。	
			(外部評価) 利用者個々が「生きがいのある人生を過ごす」ことを目指す理念を掲げ、事業所玄関の前にある掲示板に掲示されていた。事業所は、地域と行き来できる関係を目指しておられ「地域に溶け込んでいきたい」と話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 中学校の「地域に働く人々」の講義や、福祉体験学習の受入はしている。又、運動会や文化祭に招待して頂き、参加させてもらっている。あんど公園にて近所の方達とお茶をする機会も増えたり、年に一度のバーベキュー大会には、たくさんの方に参加をして頂いている。	
			(外部評価) 中学校の運動会を見学に出掛けられたり、又、事業所前にある「あんど公園」で食事やおやつを食べていると、通りかかった方が声をかけてくださることもある。又、バーベキュー大会を行った際には、民生委員の方やご家族等も含む80名ほどの方が集まり、にぎやかに交流された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 代表者は、明德短期大学で9月から「認知症の理解」の講義を受け持っている。ボランティアや実習生も少人数を受け入れ、入居者が不穏にならないよう配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議では、自己評価の内容や外部評価の結果については報告しており、今後どのように取り組んでいくか意見を頂いている。又、お花見やバーベキュー大会にも参加してもらい、利用者や家族の様子を観て頂き、後日意見を頂くようにしている。</p> <p>(外部評価) 会議には、民生委員や介護相談員の方の出席をいただいております。「認知症の勉強をしたい」という出席者の声を受けて、明德短期大学の教授をお招きして「認知症の行動・心理症状」等、高齢者介護について講演していただいた。事業所の活動報告や利用者の近況報告もされている。</p>	<p>さらに、会議時に利用者やご家族の参加をいただけるよう働きかけ、利用する立場からのご意見も聞けるよう取り組まれてほしい。又、市の担当者の方の出席もいただけるような時間帯の検討や、参加してみたいような議題・ご意見を多くいただけるような議題等の工夫についても話し合い、工夫を重ねていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 分からないことは、直接、市の担当者に会い詳しく意見をもらっており、こちらの状況も説明している。又、月に1回介護相談員が来居しいろいろなアドバイスを頂いており、質の向上に努めている。又、介護認定更新時には、市からの担当者が来られ、具体的に説明している。</p> <p>(外部評価) 市の担当者の方が、運営推進会議に出席された際には、事業所の活動についての意見交換時にアドバイスをくださっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 玄関やデッキの出入りのドアに施錠はせず、入居者の様子をよく観察し、さりげない声掛けや見守りをしており、安全面に配慮して、ある程度自由に行動してもらっている。身体拘束をどうしても行わないといけない場合には、家族・医師・利用者・事業所と相談の上としている。</p> <p>(外部評価) 身体拘束については、職員に資料を配布して話し合い、職員個々にレポートを書き、知識を深めておられる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  虐待については、ミーティング等で話し合い、もう一度自分達の介護について見直している。又、お互いに気がついた事は声を掛けている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  以前には元民生委員の方に成年後見人についての講義をしてもらい話し合いはしたが、この1年間では学ぶ機会をもうけておらず、一部の職員しか理解していない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約書や重要事項説明書については、時間をとって丁寧に説明し、納得したうえで同意をもらっている。その都度、本人、家族と相談しており、一方的にはならないようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  家族会ではいろいろな意見が出るようになり、それをミーティング等で話し合い反映させている。その中で、「月に一度情報が欲しい」という家族の要望があり、手紙にて詳しく説明している。これによって、遠方にいる家族にも状態は伝わっている。又、家族が面会に来られた時は、状態を話せる時間を作っている。  (外部評価)  ご家族の来訪は頻繁にあり、その都度日頃の様子を伝えておられる。又、利用者の現在の状態を詳しくご家族に知っていただくために、ご本人の体調や服薬のこと、レクリエーション等、活動の様子を手書きして送っておられる。家族会を重ねるごとに、出席されるご家族同士でつながりができてきている。	現在、ご家族からは「お任せします」というような言葉が多く、ご意見を出していただくことは少な目となっている。法人代表者や管理者は、ご家族の心情を踏まえて、意見の引き出しの工夫をしていきたいと考えておられる。さらに、利用する立場からのご意見を、事業所の質の向上に向けての取り組みにつなげていかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>代表者、管理者は、毎朝のミーティングやいろいろな場面で職員の率直な意見を聞いている。また、自分の意見を言いやすい雰囲気をつくるようにしており、出た意見については、皆で話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員がその都度、意見等を出せるよう、法人代表者や管理者は、職員が何でも言いやすい雰囲気を作っておられる。管理者は、職員のアイデアを聞き、「試してみる」ことを大切にされている。行事ごとの後に職員で集まり、勉強会をされており、又、管理者は、日々の中で職員に介護の知識や技術を伝えておられる。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>代表者も介護に入っており、職員の悩みや苦勞は把握しており、少しでも改善できるように努力している。資格取得には全面的に協力しており、資格手当も支給している。職員の苦勞やストレスがないかよく観察し、本人の希望を取り入れた勤務表を作成している。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>事業所内で毎年1回は、救急法の研修を行っているが、事業所以外の研修には一部の職員しか参加できていない。資格を取るための講習や研修には積極的に参加できるよう協力している。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>連絡協議会にて、他の施設職員と意見交換をしており、それを職員に伝えている。が、まだまだ地域の同業者との交流は少ない。</p>	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>事前面接を行い、ご家族や本人の状況を把握するようにし、本人が安心できるような体制を取っている。日中何日か体験してもらった後、何泊かしてもらい少しでも本人に受け入れてもらえるような関係ができたら、と思っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談に来られた時から、困っていることや家族の思いをよく聴き、受けとめるようにしている。又、事業所ではアドバイスを言いながら、どうゆう事ができるか話し合いをしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談に来られた時は、家族や本人の思い、状況などを考慮し助言や対応をしている。早急な対応が必要な方には、可能であれば柔軟な対応をしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>介護する、されるではなく、共に支え合い、寄り添い生活している。又、いろいろな場面で喜怒哀楽を共にし役割のある生活を一緒に送っている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月1回、本人の様子や職員の思いを手紙に書いて送っている。又、行事には家族を誘い、一緒に過ごす時間を作っている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>同級生や麻雀仲間が遊びに来て下さる方はいるが、殆どの方が途切れている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の同級生が訪ねて来てくれた時には、居室でおしゃべりを楽しまれている。友人やご家族、以前通っていたデイサービスの職員へ手紙を書かれる利用者の方がおり、職員がポストに投函されている。手紙を受け取った、以前通っていたデイサービスの職員の方が、事業所を訪ねて来て下さったこともある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員は入居者同士の関係を把握しており、孤立しないよう、関係がうまくいくよう配慮している。心身の状態が日々時々変化する方には、職員が間に入り支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 時々、野菜やお菓子を持ってきてくれたり、年賀状をくださる方はいるが、殆ど関係は途切れている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の行動や表情、コミュニケーションから本人の思いや希望を把握するように努めている。中には、本人の希望を家族に伝え、月に何日か娘さんと外出される方はいる。 (外部評価) センター方式のアセスメント表を用いて、毎年、利用者個々の日常生活動作の状態の把握に努めておられる。昼食後、職員は利用者個々に食後の飲み物の好みを聞いておられ、熱いもの、冷たいものも選べるようになっていると聞かれた。	法人代表者は、日々の中で利用者が語る、子どもの頃の様子やご両親のこと等のお話をお聞きして、個々の自分史のようなものを作りたいと話しておられた。現在、利用者個々からは「やってみたい、食べてみたい、行ってみたい」というような希望はあまり聞けないようであるが、今後のさらなるアセスメントの充実から思いや意向を探り、さらなる「生きがいのある暮らし」を支援していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族や本人からある程度の生活歴は把握できたが、言いたくない部分もあり、細かい情報は得られていない。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) できる、できないシート、分かる、分からないシートを作成し、それぞれに把握している。利用者一人ひとりの生活リズムも理解しており、それぞれに対応している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の来居時に希望や意見を聞いたり、来られない方には手紙や電話で希望を聞いている。日々の関わりの中で本人の希望や思いを知るように努め、職員と話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族には介護計画についてご意見を聞いておられる。計画は、定期的な見直しと退院時等の状態変化時に見直すようにされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録には、日々の様子が目に浮かぶように言葉や対応を詳しく書くようにしている。又、食事、水分量、排泄、バイタルチェックも記録しており、全ての職員が情報は共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族の希望、状況に応じて、受診、病院への送迎など支援は行っている。その都度話し合い、臨機応変に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議にて、民生委員の方と意見交換はしている。又、ボランティアで髪のカットに来てもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) かかりつけ医の受診には、本人、家族の希望により職 員が付き添い、普段の状態を説明している。家族に同 行する場合もある。又、一週間に1回協力医療機関の 往診があり、何かあればすぐに家族に報告している。 緊急時には、昼夜関係なく協力医療機関の医師、看護 師が対応してくれている。	
			(外部評価) 往診の日時をご家族には事前にお伝えして、医師と直 接お話できるような機会作りをされている。職員が病 院受診時の同行をされているが、ご家族、事業所、相 互の都合等、協力し合うようにされている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 提携医療機関の看護師とは、開所から7年以上連携を 取っており、入居者の状態や投薬等把握している。 又、24時間いつでも相談、助言、対応をしてもらっ ている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には、本人の状態を詳しく口頭で説明し文書で も提供している。頻繁に見舞い、家族や医療機関と情 報を交換し速やかな退院ができるようにしている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人、家族、かかりつけ医、事業所と、その都度話し 合い、医師や看護師とも連携が取れている。介護員と も話し合い、体制を整えたり、対応方法を考えてい る。この結果、昨年一人の方を看取ることができた。	
			(外部評価) 看取りを支援した事例もあり、医師やご家族とも話し 合い、協力し合って支援に取り組んでおられる。ご家 族が泊まってくださったり、職員の「普段と違う」と いう気づきを大切にして、職員同士連携して取り組ま れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年に1回消防署の研修を実施している。夜間の緊急時対応や、救急車が到着するまでの応急処置については、ケースを想定して勉強会をしている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得て、消防訓練は実施しており、施設内でも避難訓練は実施している。地域の消防団には協力をお願いしているが、近隣の方々の協力を得られる体制はできていない。只、運営推進会議の中で、「防災士の資格を取ったらどうか」という意見を頂き、代表者が資格を取得した。 (外部評価) 法人代表者は防災士の資格を取得され、防災についての知識や技術を得ておられる。外出時等、利用者が全員外に出る機会に、避難する訓練を行ってみることもある。	いざという時の職員の夜間時の対応や、車いすを利用されている方の避難等の訓練も行っていきたいと話しておられた。利用者や職員の安全と安心に向けた取り組みを重ねていかれてほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 理念にもかかっているが、常に人として尊重した対応をするよう心がけている。又、プライバシーを考慮し、誇りを傷つけない声掛け、対応を行っている。職員の入社時には、守秘義務について十分説明している。 (外部評価) 職員は、日中の過ごし方等、「利用者個々が何をしたいかを言ってもらえるような声かけ」に気を付けておられる。カラオケを楽しむ際、懐メロを利用者が教えてくださることもある。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 職員側で決めたことを押しついたりせず、利用者が自分で決められるような声掛けをしている。言葉で表せない人でも、表情や態度を見て、自己決定できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な1日の流れはあるが、その時の本人の気持ちにより自由に生活されている。その方の体調や希望、ペースに合った対応ができるよう努力している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 洋服は自分で選び、その時の気分で着替えもされている。外出時には、おしゃれをして身だしなみにも気を配っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理の下ごしらえや盛りつけ、片付けも一緒に行い、職員も同じテーブルで楽しく会話をしながら食事をしている。又、自分で作成した食器を使用する事で少しでも食事時間を楽めるようにしている。	
			(外部評価) 食材の買い物をする時には、利用者が新鮮な野菜を選んでくださる。旬のものをふんだんに採り入れたメニューに心がけておられ、刺身等の新鮮な魚も多く食卓に上る。デザートや果物等は、お好きなものの希望がよく聞かれ、誕生日時には、赤飯やお寿司等、ご本人のリクエストに応えたメニューでお祝いされている。利用者が「おいしい」と感想を言っておられる様子も見られた。95歳を超える利用者が、テーブルを隅から隅まで拭いて下さっていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量や水分量はチェックしており、状態によっては、食事形態、調理法、量は工夫している。その日の状態で食べられなかった方には、間食を増やしたり食べる時間を変えたりしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 利用者の状態に合わせて口腔ケアの声掛け、誘導を行い、見守りや介助をしている。残渣物がないよう、利用者の気持ちに配慮しつつチェックしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表で、個人個人の排泄パターンを把握しており、その方に合ったトイレの声掛け、誘導を行い、トイレ内に排泄できるよう支援している。利用者の様子をよく観察し、サインを見逃さないようにしている。失敗した場合でも自尊心を傷つけない対応を心がけている。	
			(外部評価) ご自分で排泄できるようトイレ内に手すりを取り付け、車椅子の方も利用しやすいよう空間を広げられた。利用者がトイレを使用する際、扉が開いていたら、そっと閉めるようにされ、トイレから出て来られた際には、職員が利用者の衣服を整えておられる様子が見られた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表で排泄パターンは把握している。起床時に冷たい牛乳を飲んでもらったり、ヨーグルトや食物繊維の多い食事を出している。又、負担にならない程度の運動も、レクリエーションなどで取り入れている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) できるだけ入浴したい日、時間に合わせているが、職員の配置上無理な場合がある。足浴をしたりして対応している。又、信頼関係ができてから入浴介助をしている。	
			(外部評価) 入浴がお好きな方が多く、2日に1回は入ることができるよう支援されている。浴槽に入る動作がしんどいと言われる方もあり、足浴しながらシャワーをする等、体が温まるような配慮をされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 皆さん規則正しく生活はしており、一日のリズム(日中は活動・夜間は休む)は整えている。その中でも個人個人のリズムに合わせ、体調や表情を見ながら声掛け、対応をしている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別処方薬表を作成、個人記録にも綴じており全職員がいつでも把握できるようにしている。処方の変更があった場合は連絡ノートに記入し、全職員に分かるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) その人の好きなこと、楽しんでできる事を見つけ出し、その人に合った役割や場面づくりをしている。(掃除、食器洗い、食器拭き、洗濯干し、縫い物など)	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日は、あんど公園でおやつやお弁当を食べている。週に一回、移動のパン屋さんに来てもらい好きなパンを買われている。車椅子で外出もしているが、トイレの心配があったり、体力的に難しい場合がでてきた。	
			(外部評価) 利用者の状態のこともあり、皆で出かけることがむづかしくなっている。その分、事業所前のあんど公園で食事したり、お茶を飲んだりする機会は増えている。	事業所では、利用者の身体レベルの低下に伴い、利用者個々のレベルに合わせた支援を考えておられる。ご本人の生きがいのある暮らしの支援に向けて、ご本人の行ってみたいところ等も探り、事業所でも出かけてみるような支援に取り組んでいかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族との話し合いにより、原則的に金銭は持たれていない。買い物に出かける時は、一人ひとり財布を持って支払いをしてもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 居室に電話を設置しており、他人に聞こえることなくゆっくりと会話をしてもらっている。皆さん年賀状や暑中見舞いなどはかかさず書かれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>夏場は簾を設置し、快適に過ごせるようにしている。デッキからは自由に外に出ることができ、常に季節感をあじわせるようにしている。又、常に生活の音、臭いはしている。壁面も季節感のある飾り付けを入居者とともにやっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>両ユニットの居間からデッキに出ることができ、調査訪問時には、両ユニットの利用者、職員と一緒に日向ぼっこされていた。愛犬が2匹おり、利用者が犬を撫でている様子もうかがえた。居間は風通しも良く、昼食後に換気扇と窓の近くでタバコを吸っておられる利用者の方もおられた。廊下の突き当たりにも座るスペースがあり、入浴後に涼んだり、歩行練習中に一休みされるのに使用されている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>廊下端のベンチに座り、入居者同士が楽しく話しをされたり、横になったりされている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>座り慣れた椅子を持って来られ、居室にてゆっくりテレビを見られている方もいるが、殆どの方は、使い慣れた家具等、持ち込みは少ない。家族の写真などは飾られている。何年も入居されている方にとっては、現在使われている家具や物が馴染みの物となっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、お花等ご家族からの贈り物や、お誕生日に職員からプレゼントされたメッセージ等が飾られていた。ご自分が手書きで生活上「気を付けること」を書いて、貼っておられる方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとり「できること」「わかること」シートを作成しており、職員は状態を把握している。その上で目印を付けたりして、少しでも自立した生活が送れるよう工夫している。又、状態の変化は常に観察している。</p>	